

農場即売会場への来客状況

内村利美

目的

4月上旬に行われる農場即売会は、農学部・農場の恒例行事として定着している。本調査は、平成3年度と4年度の即売会期間中の来客状況を経時的に調査し、その傾向や問題点を把握し、即売会場内の運営をより安全・円滑なものにするための基礎資料を得ることを目的とした。

材料と方法

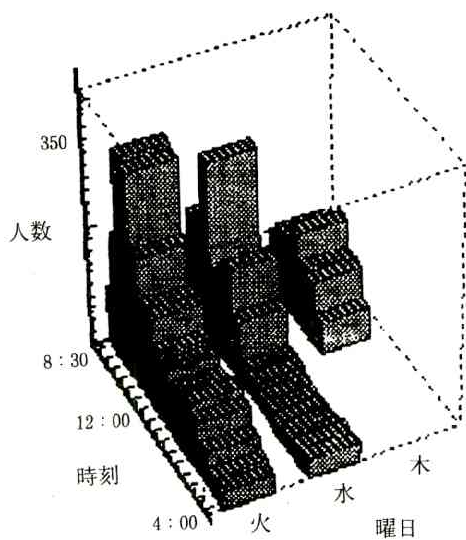
平成3年度および4年度の即売会での会場内の来客数を30分間隔で調査した。また、特に混雑する場所や危険性がどのような状況下で生じるかを観察した。

結果と考察

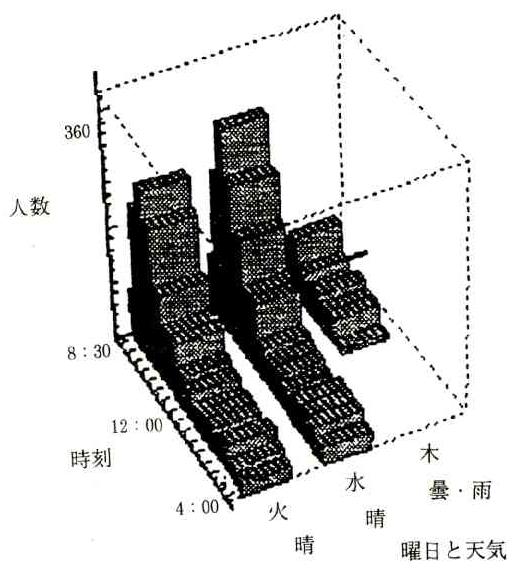
平成3年度の即売会の来客状況を第1図に示した。また、平成4年度你来客状況を第2図に示した。両年度とも午前中に来客数が多く、特に9時から10時の間にピークが見られた。このためこの時間帯を中心に会計処理場に混雑が認められた。従って、現在の会計処理の方法でいくとすれば、特にこの時間帯に処理要員を現在の倍程度は確保する必要があると考えられた。

また、ミカン等の目玉品を販売する場合、瞬間的に客が殺到するため、極めて危険な状況が見られた。来客にはかなりの高齢者や女子が多く、来客の安全を確保することを最優先にした方策を考えることが緊急課題であると考えられた。

即売会を行うに当たっては、即売品の準備・搬入・販売等の過程で多くの職員が関わっているわけであるが、これらの苦勞が報われるよう、全員の声を反映させ、一層充実した即売会にする必要があると考えられた。



第1図 平成3年度農場即売会への来客状況



第2図 平成4年度農場即売会への来客状況

- **午前中の会計での人手不足の問題
- **ミカン等の目玉品販売法の検討課題